学校番号	3034

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「改訂版古典Ｂ　古文編」（数研出版） 「改訂版古典Ｂ　漢文編」（数研出版）						
副教材等	ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）明解古典文法（いいずな書店） 重要古文単語 315（桐原書店）精選漢文（尚文出版）アップリフト古文（Ｚ会） 簡明小倉百人一首（尚文出版）漢文アチーブ３（桐原書店）「古典　共通テスト＋センター試験国語過去問題」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典を学ぶことは、日本文化について学び、伝統を受け継ぎ、グローバルな世界で主体的に生きるための基礎的な素養を身につけることにつながります。「古典Ｂ」ではさまざまな古典の文章を読むことを通して、人間、社会、自然などに対する見方や考え方を深め、発展させていきます。
・３年次の古典では、現代語訳をするだけでは不十分です。１、２年次と同様、本文を写して古語単語を調べ、現代語訳をすることはもちろんですが、まず、自力で作品全体の内容を把握する努力をしてください。疑問点を明らかにして授業に臨むことが何よりも重要です。

２　学習の到達目標

１．古文と漢文を正確に読む力を養う。
２．古文と漢文を読むことで、当時の人々のものの見方や考え方を理解し、日本の伝統文化について考え方を深める。
３．古典について興味や関心を持ち、理解を深めることによって、自らの国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			まとまりのある古典を的確に読み取り、歴史的背景などを幅広く学んで自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート等）			記述の確認及び分析（ノート等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

４　学習の活動

【古文】

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	随筆	教材: 『枕草子』 「二月つごもりごろに」 「宮に初めて参りたるころ」	○			○	○	a:筆者の美意識や平安朝の宮廷生活を理解しようとしている。 d:典型的な古文の読解を通じて、作者の感性を理解し、機知に富んだ作品のおもしろさを理解している。 e:古語や文法事項に習熟する。また、当時の習俗や文化的環境、引用されている漢文の知識についても理解を深めている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
	物語一	教材: 『源氏物語』 「須磨」 「紫の上の死」	○			○	○	a:『源氏物語』という日本が誇る文学作品に興味や関心を持ち、作品全体を主体的に学ぼうとしている。 d:それぞれの場面を文脈の中で理解し、登場人物の心情やその動きを深く理解している。 e:古語や文法事項の習熟、和歌に込められた心情を的確に理解する。『源氏物語』の作品世界を味わいながら、当時の人々の感じ方や考え方について理解を深めている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
	日記	教材: 『和泉式部日記』 「薫る香に」 『蜻蛉日記』 「うつろひたる菊」	○ ○			○ ○	○ ○	a: 作者のおかれた状況やその生き方への理解を通して、平安時代の女流日記文学を深く味わおうとしている。 d:当時の生活様式や本文の読解を通して、当時の作者の立場や心情を読み取っている。 e:古語や文法事項だけでなく、和歌の鑑賞を通して、人物の心情を深く味わい、当時の人々の習俗や文化的環境についても理解を深めている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査 a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
後期	物語二	教材: 『大鏡』 「道長の豪胆」 「三舟の才」	○			○	○	a:歴史物語に親しみ、その特色を理解しようとしている。 d: 登場人物の人間関係を理解し、その行動と心情を読み取っている。 e:古語や文法事項に習熟する。また、当時の習俗や文化的環境について理解を深めている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
	問題演習	教材: 「古典共通テスト＋センター試験国語過去問題」	○			○	○	a:自身の進路を見据え、積極的に取り組んでいる。 d:文章全体の文脈を正確に把握し、出題者の設問の意図を的確に理解できている。 e: これまで習得した古典常識や古語、文法事項を、さまざまな文脈に即して捉える応用力が身についている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査

【漢文】

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	小説一	教材: 『本事詩』 「人面桃花」	○			○	○	a: 著名な逸話について興味を持ち、内容の面白さを味わおうとしている。 d:場面の状況や人物の心理を正確にとらえ、理解している。 e:重要な語句や句法について理解し、文脈を正確にとらえることができている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
	史伝	教材: 『史記』 「伯夷叔斉」 「荊軻」	○			○	○	a: 古代中国の歴史に興味を持ち、英雄たちの精神に親しもうとしている。 d:人物のおかれた立場やその心理を正確にとらえ、理解している。 e: 重要な語句や句法について整理し、場面の展開を正しくとらえ、理解を深めている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
	漢詩	教材: 「子夜呉歌」(李白) 「兵車行」(杜甫)	○			○	○	a: 漢詩に描かれた人物や情景・心情などを表現に即して味わおうとしている。 d: それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解している。 e:漢詩の表現技法や表現効果について、理解を深め定着させている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
	思想一	教材: 「韓非子」 侵官の害 「老子」 小国寡民	○			○	○	a:中国思想に親しもうとしている。 d:韓非子、老子など、さまざまな思想を理解し、人間や社会などに対するものの見方や感じ方を深めることができている。 e:重要な語句や句法について整理し、理解を深め定着させている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
後期	思想二	教材: 「荀子」 性悪	○			○	○	a:中国思想に親しもうとしている。 d:巧みな論の展開に注目しながら、内容を的確に読み取っている。 e:重要な語句や句法について整理し、理解を深め定着させている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査
	問題演習	教材: 「古典共通テスト＋センター試験国語過去問題」	○			○	○	a:自身の進路を見据え積極的に取り組んでいる。 d :文章全体の文脈を正確に把握し、出題者の設問の意図を的確に理解できている。 e: これまで習得した句法や語句等の基礎的な知識を、さまざまな文脈に即して捉える応用力が身についている。	a～e: 行動の観察と記述の点検 定期考査

※　表中の観点について　　a. 関心・意欲・態度　　b. 話す・聞く能力　　c. 書く能力

d. 読む能力　　e. 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。